

日三月二



定価一紙五銭... 発行所 常新日新聞社... 印刷所 常新日印刷株式会社

創作 雪の夜

木津 茂太郎

(一)

『志摩ちやん、もう幕が明きますよ』

かう言はれて志摩夫は少し急ぎ足になった。客の一杯つまつてゐる廣い處に出ると、幕がすつかり明けられて、出語りの淨瑠璃が初まつた所であつた。志摩夫は函のうづらに入つて、古風な芝居を見やうとしてゐると、顔馴染の女給が艶つぽく笑つて

『志摩ちやん、あんたの大好きな人が来てますよ』 『誰さ。俺の好きな人つて。』 『極つてるぢやないの。敬子さんが二階から此方を見てるぢやありませんか。』

さう言はれたので志摩夫は上眼をして見て、ほんたうなので喜んだ。女給は笑聲を残して去つて行つた。志摩夫は十五の少年だが此の劇場には相當の上客である。それと云ふのは彼の父はこの劇場に就いては切つても切れない關係があつたからである。『當年十四歳の美少女様か』

やんちやが三分、はにかみが二分。』

彼はひとり低聲で云つて見た。その時二階程離れた所で役者を囁やすのが聞えた。役者が苦笑したらしい。間も無く愁艶な芝居の幕が閉ぢられた。二階から敬子が長い袂をゆらゆらさせ

ノット 味の悪い 醤油を美味しくする

るには、味の悪い醤油一升について酢を盃二杯位入れてよく煮て冷しておきます。この時使ふ酢はなるべく上等のがよろしい。醋酸や酢の素などではいけません。

て降りて来たが、便所へでも行くのか平土間を歩いて行つた。志摩がつひ其處でばつたりと敬子と出合つてしまつた。

二明日の献立二

【朝】みそ汁—大根 わかめ

【晝】ミートオムレツ—鶏卵 牛肉 玉ねぎ

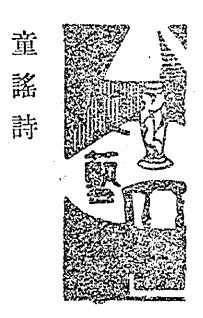
【晩】ぬた—赤貝 こんにやく うど

『志摩ちやん、今夜も』と澄んだ聲で云つた。『敬子さん、一体何が面白くてそんなに此處へばかり来るんだい。先日も此

處で會つたぢやないか。』 『でも、お姉さんが...』

『おや、姉さんが來てるの知らなかつた。誰姉さんお姉姉さん、美代子姉さん?』 『二人ともだわ...來ない?』 『うむ。行こうか』

敬子は便所の方へ行つた。志摩夫はしばらくしてから君子や美代子の處へ來て上手な洒落など云つて散々笑はしてゐた。彼女等が快い笑にゆすられてゐる所に敬子が戻つて來た。敬子も一緒に白顔を波打たせて笑つた。



木犀

伊志井いさむ

夜中にひとり目が覚めりや破り樋からじた／＼落ちる雨だれの音がさびしいなあしたの學校へ持つて行く木犀の花がしんばいでそつと雨戸を開けて見りや聞から木犀匂ひます

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科 平南町 (電話一七〇番) 大和田醫院

旭硝子株式會社製品 板ガラス 硝子 食器 其他各種 松崎硝子製作所 平町新川町 (電話一四二番) 仙臺市榮町 (電話五九七番)

イヤ! 君! いゝ冬服を求めたね 断然三三年型だよ いやコレカネ! 例の...「ソレ」 正札堂さ 磐城セメント會社特約店 磐城平町五丁目 電話九番九九番

久松屋商店 磐城平町五丁目 電話九番九九番 □良品廉賣に勝る商略なし □確實敏捷は久の生命なり

御贈答に記念品に!!! 漆器を!!! 専門の漆器店 是非御用命を ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ ル、又ルモノミセ 平町三丁目北裏(元郵便局通り) 各調産漆器 専門卸小賣 (共) 漆器店 店員募集 十三才位 小 店員 三十才位 外 交員

御料理 八千代 平町田町 電話三七五番

玉屋洋品店 平町田町 電話六五六番

外科 X 光線科 性病科 外科 安齊外科醫院 平町田町 電話四七五番

政府米到着

町會の議を経て 一俵七圓卅五錢

既報平町役場では昨年中の暴風被害農家救済の爲め豫てより政府米拂下方を申請中であつたが昨日第一次拂下米二百五十俵が平驛に到着したので町役場では来る六日の町會に附議して一俵七圓三十五錢乃至七圓四十五錢にて拂下分配する模様である

鮫川下流

地誌に就いて 山口教諭講演

石城郡錦村鮫川中堅農民學校では四五の兩日同校内に農事講習會を開き磐城高等女學校山口教諭の「滿洲農業殖民及び鮫川下流地誌に就いて」の講話がある

武道優勝選士

寒稽古納會試合

磐城中學校柔剣道部にては去る一日寒稽古納會式舉行後各學級五名宛出場し對抗試合を催したが學年優勝及び全校優勝は左の如くいづれも賞品及び賞状を授與された

△劍道部
(學年優勝)一ノ五 二ノ四 三ノ二 四ノ二 五ノ二

△柔道部
(學年優勝)一ノ三 二ノ一 三ノ三 四ノ三 五ノ一
(全校優勝)五ノ一坂
本文彦 佐藤清 川島令司 柴田忠倫 中川勝己

公民的的の

訓練を施す

平町各小學校の 新たな課外教育

平町各小學校にては公民的訓練を施し併せては今回學業の体位の向上の圖り學校教育の効果を全からしめる事になつたと

一、敬神崇祖 一、團體訓練 一、社會奉仕 一、協同互助 一、規律の節制 一、勤勞愛好 一、身體鍛練 一、自然に親しむ

馬匹去勢

郡下の日割

石城産馬組合では本年度に於ける郡下馬匹の去勢検査を左記日割にて行ふと

(三月十四日)大野 大浦 草野 小川 神谷(同十五日)平 夏井 高久 鹿島 内郷 飯野 好間 赤井 平窪(十六日)磐崎 上遠野 湯本(十七日)植田 勿來 泉(十八日)錦山田

晝夜兼行で 作業を急ぐ

小名濱港の災害復舊工事

既報石城郡小名濱町の災害復舊工事は工費三萬圓にて着工し護岸工事全部を竣功したので海底浚渫作業に移るべく新式浚渫船を四千圓にて注文の處去る一日機

既報石城郡小名濱町の災害復舊工事は工費三萬圓にて着工し護岸工事全部を竣功したので海底浚渫作業に移るべく新式浚渫船を四千圓にて注文の處去る一日機

水高を迎えて...

磐中一戦を試む

劍道部が猛練習開始

磐城中學校劍道部にては近日水戸高等學校劍道部員十五名を迎へ試合を行ふ事になつたので目下係教諭指導の下の猛練習中である

田人農事講習 石城郡田人村農會では五日午後一時より同村小學校にて農事講習會を催すと

九品寺託兒所へ

知事から金一封

既報平町仲間町九品寺託兒所は昨年の農繁期際し平町及び附近農村の幼兒を預り成果を挙げたので本日赤

本知事より町役場を経て金一封を贈られた

自給肥料の増殖

石城郡農會が獎勵

石城郡農會では郡下農村の自給肥料増殖獎勵の爲め来る廿二日午前十時より平町團體事務所樓上に實行委員協議會を開催する事になつた

平町入事

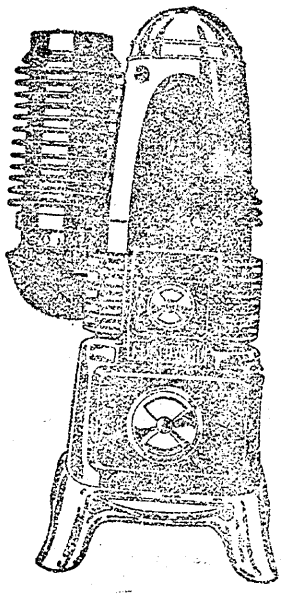
回出 生
△材木町一八 菅野傳氏長 女子子
△鎌田町四八 當時横濱市中區中村町平樂九七平塚 常松氏三女千恵子

市原醫院

平町 田町 電話一四番

嚴冬の征服者

福祿ストロップ 戸に毎に福祿!!!四海は常春!!!



電話三七番へ

カタログ御申越下さい早速持參致します

阿部石炭商店

平停車場前

毎度御ひいき

有難ふ御座ります

うなぎの御用命は

うなぎ 奴

平町田町(電話二二三番)

ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

太平生命外務社員募集

身体強健 眞面目な奮闘家を求む
入社希望者は左記に申出でられたし

平町二丁目地球堂内
太平生命保険株式會社

磐城方部事務所

平町二丁目
三井タクシ
電話 八六五番

神社や寺院を

泊り歩く小窃盗團

聚樂館でスリを働かす一網打盡

石城郡内郷村字宮生れ當時住所不定加藤伊七(一)及び大平福藏(二)山田三郎(三)及び(四)三名は常に一團となつていづれも假名の三名は昨二日午後九時頃平町聚樂館内で觀劇中隣席の田町味岡子之松氏の懐中より十圓餘在中の墓口を抜取つたのを折

滿洲國の政府から

道路技手採用申込

本日平町役場へ滿洲國政府より同國道路建設の爲め陸軍工兵科出身在郷軍人を採用したき旨にて依頼し來つたが夫れに依ると工兵科佐官大尉級は技師、准士官と下士官は技手主計と上等計手が屬官、上等兵看護長等が雇員に新任出來滿洲國官吏として最高三百五十元より最低七十五元の手當を支給されるものであつて希望者は履歷書二通、身分證明書、戸籍謄本等を至急町役場へ届出され度いと

豪遊する男の

室から苦悶の聲

主人の金を使ひ込み免れぬ運命を悟つて

石城郡湯本町施館昭和館に昨二日午後五時頃東京市向島區吾嬬町本町西一五金物商柴田一郎(三)と稱し泊り込んだ男があつたが同夜藝妓

石城郡内郷村字宮生れ當時住所不定加藤伊七(一)及び大平福藏(二)山田三郎(三)及び(四)三名は常に一團となつていづれも假名の三名は昨二日午後九時頃平町聚樂館内で觀劇中隣席の田町味岡子之松氏の懐中より十圓餘在中の墓口を抜取つたのを折

同人は

神奈川縣足柄郡小田原町四丁目六二六某金屋店に勤めて居た際主人の金を使ひ込んで各地を放浪し逃げ終せぬ身の行末を悟つて覺悟の自殺を計つたものらしく目下平署で身元照會中であるが生命危篤であると

匡教工事開始で

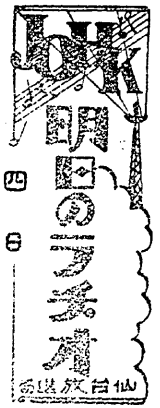
求職が減少

平職業紹介所が去月中に取扱つた紹介成績に依ると求人は男四十二名、女二十名計六十三名、求職は男五十七名、女九名、計六十六名で其のうち就職した者は三十八名であつたが前月に比較すると求人二十九名、求職十八名減少また前年同期に比較しても求人求職合計で八十五名の減少を見たこれは各地に匡教工事が實施された結果であると

遺産五千圓を

巡つて相争ふ

平町三丁目大谷時計店裏齋藤花枝(四)は昨年五月頃夫清忠(七)と共に山形市で小問物商を営んで居た際夫が



明日の部
前九、一〇料理献立
小林忠雄
前二〇、三〇家庭講座
「スポーツ外傷の豫防と手當」二 醫學博士蔭山

今晚の部

後六、〇〇子供の時間
お話「こんな節分を御存知ですか」藤澤衛彦
後七、三〇大阪にわか
「忠臣藏山邊ひ二大和家小

磐女辯論

大會期日

十六日と決定
既報磐城高等女學校辯論大會は来る十六日午前十時より開催する事に決定したと

磐中に傳書鳩

教練に使用する

磐城中學校にては此程陸軍省より傳書鳩二羽を移譲されたので教練及び作業に試用する事になり目下校長室の前に小屋を建設中である

愛婦幹事囑託

平町大町藤井ヒサ、古銀治町山崎キク、胡摩澤大河原キヨの三氏は今回愛國婦人會平委員區幹事を囑託された

精神

修養講習

平町第一回精神修養講習會は水野虎三郎氏發起の下に來る八九の兩日一泊二日間の豫定で仲間町九品寺に於て開かれるが講師は日本修養團郡山支部松山政治氏にて會費は無料參會者は十五

明日の部
後五、三五受験講座
國語 内海弘藏
後六、〇〇子供の時間
ハローモニカ合奏 仙臺ハ
トモニカソサエタイ
指揮鈴木幸四郎
後七、三〇講演「幕末志士

後八、〇〇連續浪花節
「河内山宗俊終席」木平重友
後八、四五新小唄 石巻町時奴外
後九、四〇全國ニュース
氣象通報 番組預告

現金及び貯金通帳其他五千圓を持出して行衛を晦したが中村は花枝が前記平町三丁目裏に居を構いて居た事

以上以上の男女にて食事三分として玄米或は白米七分、手拭、下足袋、女子はエプロン等を用意し來る八日午後二時に集合するものであると因に宿舎は男子は九品寺、女子は城山磐城家政學院である

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

幕末剣士

【禁傳載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

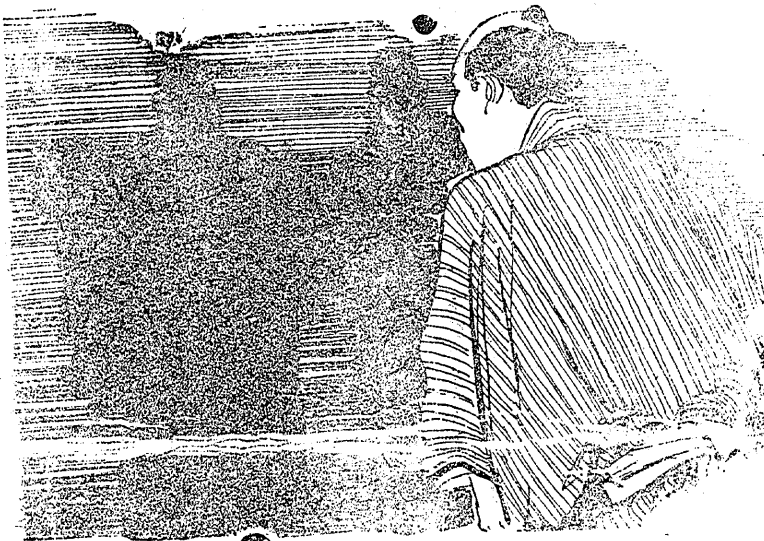
第二百五十八席

千葉周作

あまを逃すな

清瀧の佐吉はいつこく者とて親分繁藏の女房と子分友藏の非行をにくみ、小臺の渡し小屋に伴れ込み友藏を縛り上げ

友「へエ夫と呼ばれ畜生と云はれても命は惜うございませう」
佐「男らしくねえ奴だ、恥を知れもつとも汝は盗人だ恥を知る者には出来ねえ事だが、しかし親分への追善



引抜いた七首、おせいの持つて来た提灯の光りでピカリときらめいた
せい「何をやるんだねえこの人はあぶないよ、おまへはわたし達をどうするんだよ」
佐「どうするものか来世まで夫婦にして遣る、今夜俺が媒酌人三々九度の盃代りにこの七首で汝等の息の根をとめて遣る、覺悟しろ」
せい「おまへは無法な事をするね、ちよいと友藏さんどうしたらいいだらう」
友「清瀧の兄貴未練な事を云ふやうだが命だけは助け

の爲二人は助けて置くことは出来ねえなア馬鹿、ぬしはどう思ふ」
藤「それはなんだ、友藏がよくねえ、又姐さんもよくねえ、オノ姐さん、こんな事になるは身から出た錆だしかしおめへを佛にするも

その罪を憎んで人を憎まず……」
佐「生意氣な事を云ふな、此奴等が一旦手に觸れたものは山ほどの金を贈られるとても、それは塔と思つてゐる今も云つた通り親分への追善二人を冥土へ送り込

氣の毒だ」
せい「助けておくれ、わたしを助けてくれたならば親分の遺して行つたお金とそれに今住んでゐる家をそつくり渡して、わたしは廻國に出るよ、どうぞ命だけは助けて下さい」
藤「それでは何か金から家まで俺達に渡して、おめへさんは廻國に出る、さうか
オノ清瀧の兄い助けて遣つてくんねえ、二人を殺せば兇状が重くなる、助けて情を施して置けば金が儲かるこれを考へると短氣は損氣

むことにする、それにこの七首は親分から譲られたもの……これで二人の息の根を止めたならば親分は無かし喜ぶであらう、ヤイ覺悟しろ」
友藏のそばへ近寄つた、其時おせいはガラリ戸を引めてサツト表へかけ出したそれを見た佐吉が
佐「コレ待て、女を逃がすな……」
合點だと馬藤が追かけるおせいは一生懸命バタバタと駆けて行く、折しも此の小臺の渡しを向ふより舟を浮べて来た人が此方の岸へ舟が着くとヒラリと躍り上つたが何れも武家、船頭に賃錢を與へて堤へ上らうとして居たが此有様を見て一人の武家は馬藤の腕を捉へた

斯界の權威!!!
大塚の靴
自生編上靴 六圓
學生靴 女學生半靴 五圓
紳士靴弊店自慢の流行新形
平田町
大塚製靴部
電話七七番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

十日 体温の検査日です
お宅の体温計は?
正確な体温計を御利用下さい
毎月十日の検査日を御利用下さい
度量計 指定販賣所
計量器
西村屋藥局
電 三番

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

米國製剝皮膚病良藥
レメドール
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり
丹波博士創製セキドメ
たんばあめ
うまくてセキがヨクトマル
ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、スベテ化膿したもの

質流れ衣裳類 一式
御仕立御祝儀物
三丁目通り
旭屋衣裳店
電話四二五番

豫告中の發賣品は
満海よせなん
でした……なべは風味よし味よし○安すし
御來客の御馳走に氣うけよし
自慢の味と○印を!どぞ御試食下さい
御一人前 十五錢
出前迅速

せ魚漢食堂
電話六三三番
吉田眼科病院
平町紺屋町、電話六八番